

大腸 CT を用いた内臓脂肪型肥満診断の有用性に関する研究のお知らせ

東京メディカルクリニックでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 6 月 1 日 ～2029 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 大腸 CT 検査施行例における内臓脂肪型肥満診断の有用性に関する研究

〔研究目的〕 内臓脂肪型肥満はメタボリックシンドロームや冠動脈疾患のリスク因子として知られています。日本では CT 画像を用いた内臓脂肪面積(VFA)の測定が診断基準として広く用いられていますが、大腸 CT における同指標の有用性は十分に検証されていません。本研究では、大腸 CT 特有の腸管拡張が内臓脂肪計測に与える影響を評価し、内臓脂肪型肥満診断への適用可能性を検討します。

〔研究意義〕 大腸 CT は本来、大腸ポリープや大腸癌の診断を目的として施行されますが、副次的に内臓脂肪量の評価へと活用できることにより、追加の放射線被ばくやコストを伴わず、新たな診断価値の提供が期待できます。

〔対象・研究方法〕 健診会東京メディカルクリニック(東京都北区滝野川 6-14-9)において 1 ヶ月以内に腹部 CT および大腸 CT(2024 年 12 月～2025 年 2 月)を施行した患者を対象とし、臍レベル断面における VFA 100 cm²以上を内臓脂肪型肥満と定義し、BMI 25 以上、腹囲(男性 85 cm 以上・女性 90 cm 以上)、および大腸 CT での VFA 100 cm²以上の基準と比較します。臍レベルおよび L1-5 の椎体レベルにおいて、SlimVision(サイバネットシステム株式会社)を用いて腹囲、VFA、皮下脂肪面積を測定します。拡張後の大腸体積は Ziostation2(ザイオソフト株式会社)の 3D 解析モードを用いて計測します。

〔研究機関名〕 Boston Medical Sciences 株式会社

〔個人情報の取り扱い〕 ISO27001(情報セキュリティマニュアル)に従います。東京メディカルクリニックより提供されるデータは、個人を特定できないよう匿名化を行ったうえで、Boston Medical Sciences 株式会社にて解析を行います。研究に携わる関係者は被験者、研究対象者の個人情報保護に最大限の努力を払います。研究責任／分担医師は、匿名化したデータを用い、個人を特定できる情報(氏名・住所・電話番号など)は記載しません。研究責任医師は、当該臨床研究の実施に係る記録(文書および電子記録)を研究終了後 Boston Medical Sciences 株式会社にて適切に破棄いたします。

〔その他〕 本研究は、後ろ向きの疫学調査であり、患者さんへの経済負担や支払いは生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：高橋 秀和

研究分担者：内田 藍子

所属：Boston MedicalSciences 株式会社

住所：東京都中央区日本橋小伝馬町 14-10 アソルティ小伝馬町 Liens 2 階 A

TEL:050-1720-7410